

子育て世帯にも高齢者世帯にも 優しいまちづくり

井俣 憲治 議員



【問】妊産婦に優しい環境づくりの一環としてマタニティマークの普及がある。本町での取組は。

【健康部長】妊婦さんにマタニティマークのシールを配布している。パパママ教室等で伝えている。

【問】マークの意味を広く知って頂く事が肝要。普及策はもっているか。

【健康部長】議員の質問を機にポスターを掲示した。

【教育部長】授業で取扱う事は出来ないがパンフの配布等は協力できる。

【問】18歳未満の子どもとその両親、および妊産婦が県内の約1万4000軒のお店で優遇やサービスを受けられる『はぐみんカード』事業を県内のほとんどの市町村が実施している。本町の取組は。

【福祉部長】他市町に比べ遅れたが、今後早急にスタートさせる。

【問】子育て支援事業に偏重せず高齢者向け事業も、との意見も頂く。高



「マタニティマーク」と「はぐみんカード」

齢者も利用できる『はぐみんカード』のようなものを町内で実施しては。

【総務部長】東郷町だけでは効果が限定されるため、カードとして成立するものか、疑問がある。

【問】高齢者向けにも、ということであれば、地元業者にもメリットがあるが高齢者が地元のお店を利用することにより福祉の観点でも大きな効果が期待できる。導入の検討を。

【総務部長】制度設計を含め検討したい。

※このほかに入札改革および線越明許費に関する質問をしました。

子ども医療費無料化の拡大を

門原 武志 議員



【問】対象拡大は。

【町長】財政が厳しいので考えない。

【問】拡大に必要な費用は計算しているか。

【健康部長】小6まで拡大する場合、260万円、中3までだと400万円必要。

名鉄バス撤退への対応は

【問】押草団地線が3月までで撤退するが、住民が納得する案ができるまで引き止めるべきだ。

【生活部長】2年間補助をしてきたが、乗車率の増加が見込めず、撤退はやむを得ない。

【問】撤退への対応で町は巡回バスの休日朝夕の運休を北と東コースでやめ、便数を増やす。全コースで実施すべきだ。

【生活部長】名鉄バス撤退への対応なのでしない。

【問】町全体の交通網強化のため、巡回バスの台数倍加と西コースの名古屋市バス緑庫バス停への乗り入れを提案する。



視聴による開示は可能

【生活部長】いろいろ提案をいただきたい。台数増は無理である。

東郷町施設サービス(株)の役割

【問】会社が行った町民会館駐車場の花壇改修で、出た廃材が愛知池運動公園に放置された原因は。

【教育部長】連絡不足。今後は連絡を密にする。

【問】町が関知していないのに、会社が町施設に手を加えるのは適切か。

【企画部長】勝手にすることとは不適切。

電磁気的情報も複写で公開を

【問】視聴の開示だけでなく、改善を。

【総務部長】研究する。